どんぐりの森通信　第16号　2008年12月

天気予報に雪だるまマークが並び始め、いよいよ本格的な冬の到来です。今年の冬は暖冬？それとも大雪？とあちこちで冬談義が盛んですが、葉を落とした樹木は冬芽をしっかりと付け、森の動物たちも食料や寝床を整えて、自然の生きものたちは、どんな冬が来ても大丈夫なように準備に余念がありません。

「平岡どんぐりの森」の今年の活動も大半を終えました。冬の活動は来年 1 月の「平岡公園冬のにぎわいフェスタ」からスタートです。この 1 年、活動にご参加くださった皆さま、ご協力いただいた方々どうもありがとうございました。感謝を込めて、今年の活動を報告するどんぐりの森通信第 16 号をお届けします。

❖❖❖　6 月～11 月の活動報告　❖❖❖

ながぐつの土曜日

4月～11 月の毎月第 2 土曜日午前 10 時、平岡公園第 1 駐車場に集合して「たんけん」に出発、公園の自然を探ろうという**「ながぐつの土曜日」**。毎月多数の参加者が集まり、賑やかに園内を歩いて色々な発見をしました。花や草・木、虫や魚・鳥等々、参加した子供たちの興味はどんどん広がって、リーダーのゆうさんや、一緒に歩いてくれる大学生のお兄さん・お姉さんは質問攻めになることもしばしばです。

まずは見ること、体験すること　・・・・　**「ながぐつの土曜日」**の楽しい時間を紹介します。

6 月 14 日（土）トンボいるかな？たんけんたい

さわやかな初夏の風に誘われて、ながぐつをはいた子供達がたくさん集まりました。虫採り網が足りない！と嬉しい悲鳴、トンボはいつでも人気者です。湿地では、おなじみ***モイワサナエ***に始まって***オオカワトンボ、エゾイトトンボ、ヨツボシトンボ***も観察できました。網をやたらに振り回してもトンボはなかなか採れない、サッと一振りでキャッチするコツを会得した子は大満足の笑顔です。捕まえたトンボは傷つけないように、胴体を掴まず羽根を持ってそっと観察。ちょっと名残惜しげに空に放してあげました。

9 月 13 日（土）お魚たんけんたい

8 月の「平岡公園にぎわいフェスタ」は残念ながら大雨で中止になりましたので、予定していた『お魚探検隊』を 9 月の**ながぐつの土曜日**でやりました。真夏のような暑さで、水に入るには最高のお天気。50 人以上の参加者が集まったので、2 つのグループに分かれて、公園の湿地に流れ込む三里川支流で魚や水辺の生き物を観察します。手に手にバケツとタモ網を持った子ども達は勇んで水に入りますが、流れの底は泥が深くて足を取られそう。水中から引き上げたタモ網の中に、跳ねる魚を見つけるたびに歓声が上がります。***マドジョウ、フクドジョウ、エゾホトケドジョウ***の 3 種のドジョウに***イバラトミヨ***と***エゾトミヨ***。***スナヤツメ***の幼生もいました。***オニヤンマ***のヤゴ、***トビケラ、コオイムシ、マツモムシ、ミズカマキリ***など水生昆虫もたくさん見つけました。カエルは***エゾアカガエル***と***トノサマガエル***の 2 種。大きなたらいや水槽に入れて、東屋で解説を聞きながらじっくり観察します。***トノサマガエル***が急増しているのにはびっくりしました。

エゾアカガエル

トノサマガエル

❖❖❖ 6 月～11 月の活動報告（その2） ❖❖❖

ツリーウオッチング *at* 平岡公園

毎月 1 回、平岡公園内の樹木を中心に季節の移り変わりを観察する「平岡公園ツリーウオッチング」。どんぐりの森の会員以外にも毎回参加される方が増えて、平岡公園の自然観察会として定着してきました。4月から11月まで原則として第2水曜日の9時半に第1駐車場集合、お昼まで公園内を歩きます。冬はスノーシューをはいて雪の森を歩く企画もありますのでお楽しみに。

7月9日（水） テーマ： つる性樹木の観察

公園入口の梅の香橋脇には、毎年たわわに実を付ける**ヤマブドウ**があります。すぐ近くには緑の葉を茂らせた**コクワ**もありますが、こちらは実を見たことがありません。この**コクワ**は（残念ながら？）♂なので、花は咲いても実はならないのですね。雌雄異株の樹木、どちらも必要なのはわかっていても、美味しい実のなる♀の方につい目が行ってしまいます。白い花をいっぱい咲かせて林を明るくする**ツルアジサイ**と**イワガラミ**、葉の形や樹皮の違いで見分けられるようになったかな？

このようなつる性樹木は、木を這い上がって伸びていきますが、成長しすぎて支えになった木を倒したり枯れさせることもあります。細かい根っこで木に取り付くものと、グルグルと木にしがみついて登っていくものがあることなど、今日はつる性樹木の色々な性質を勉強しました。

9月17日（水）テーマ： 色づく木の葉、目を引く木の実

そろそろ夏も終わりに近づき、標高の高い山からは紅葉便りが届き始めましたが、今日の札幌は 25℃もあって真夏のような日差しです。平岡公園では赤い実、黒い実、青い実があちこちで熟していました。

遊歩道の脇では**アクシバ**の赤い実が真っ先に目に付きます。背が低い潅木で、葉の裏に隠れるように咲く花は目立ちませんが、細い糸でぶら下がって揺れる真っ赤な丸い実は目を引きます。林床に多い**チゴユリ**、**ホウチャクソウ**も実っていました。**ナツハゼ**の黒い実を見てから木道に下りて、毎年楽しみにしている**サワフタギ**の青い実を鑑賞。今年は実の数が多く、いつもに増して鮮やかなブルーに輝いていました。**ルリミノウシコロシ**という別名はちょっと物騒だけれど、瑠璃色の実にはピッタリだね、との声も。

湿地では**ミゾソバ**の遅い花が咲いていました。人影のまばらな梅林では、梅の枝切りなど庭木の手入れ談義に花が咲きました。伸ばし過ぎてもだめだが、やたらに切ってもいけない。花の咲き方、実の付き方を考えて枝きりをするのがコツとのこと。園芸も奥が深いですね。

アオサギ観察会 ＆ 講演会『アオサギの世界 in 北海道』

6 月 20 日（金） 講師： 松長克利氏 於：平岡高校

平岡イオン･ショッピングセンター裏の森に毎年 100 羽以上のアオサギが集まって営巣するコロニーがあります。

平岡どんぐりの森は、4 月･5 月と平岡高校屋上をお借りしてコロニー観察会をおこないましたが、6 月には今年最終の観察会と、「アオサギの世界 in 北海道」と題しての講演会を開きました。

講師の北海道アオサギ研究会代表 松長克利氏は、平岡コロニー形成の当初から観察を続け、毎年私たちの観察会で講師を努めてくださっています。講演会では、アオサギの生態や北海道全体のコロニー事情、アオサギと人間が共生していくための課題等について色々と興味深い話が聞けました。平岡コロニーのアオサギたちは今年もすでに南に去っていきましたが、私たちはこれからも住宅地に隣接した貴重なアオサギ営巣地を注意深く見守って行きたいと思います。

平岡公園　ボランティア活動

8 月 6 日（水）　ウトナイ湿地から湿生植物を移植

平岡どんぐりの森は公園ボランティアとして登録し、平岡公園での湿地作りや観察会等に協力しています。

公園内に造成した池にはマガモやカワセミが飛来するようになり、湿地にはいろいろな種類の湿生植物が増加して景観が整ってきました。この夏、環境省の許可を得てウトナイ湿地から数種の湿生植物を移植しました。今後の生育状況を慎重に観察していきます。

9 月 17 日（水）除草・ガマの葉の刈り取り

ツリーウォッチングの参加者の方々にも協力していただき、人工湿地の除草作業を行いました。除草というよりは刈り取った葉を再利用するのが目的でしたので、成長したガマの厚手の葉を選び、一連の作業（刈り取り・洗ってぬめりを取る・束ねて乾燥させる）を行いました。昨年に続き 2 回目でしたので、流れ作業でたくさんのガマの葉を採集することができました。

10 月　8 日（水）除草作業

湿地の外縁に成長してきたシラカバやヤナギ、ヨシなどの株や枝を除去しました。特にヤナギの生長が著しく、毎年のことながら、太くなった株や枝をカットするのは意外と困難です。湿地を覆うように生えてきた木々を除去して、日当たりが良くなりました。この日は天気が良く、10 月にしては気温が上がって、気持ち良い汗をかきました。

ふれあい空間　：　平岡公園小学校

地域の大人たちと親しく触れ合って、一緒に楽しく遊んだり学んだりしよう！という小学校の『ふれあい空間』。平岡どんぐりの森は毎年、苗作りなどで参加していますが、今年はガマの葉で簡単にできるコースター作りを楽しみました。

10 月 4 日（土）「ガマの葉で作ってみよう！」

平岡公園の人工湿地に自生しているガマが増えて他の植物を圧迫するので、毎年一部を刈り取っています。刈り取られたガマを何かに再利用できないかと、数年前から公園事務所の方々と話していました。アイヌ民族の人々が作る伝統的なござなどの織物は、このガマが材料です。簡単なものが作れないだろうかと、試しに昨年刈り取って乾燥させたガマの葉で、コースターを作ってみました。葉の緑色の部分と白い部分を組み合わせて編んだり、ちょっとした工夫で素敵なコースターができます。子供たちに作り方を教えるために、どんぐりのメンバーも集まって特訓！ふれあい空間当日は親子の参加者が多くて、材料が足りるかと心配になるほどの盛況でした。初めて作るお母さんも、低学年の子どもたちも上手に作ることができました。限られた時間でしたが、コースターの他にも可愛い魚やオリジナル作品も出来上がり、皆さんに好評でスタッフも嬉しく思いました。1月17日（土）の「冬の平岡公園にぎわいフェスタ」でも『ガマの葉で小物作り』を計画していますので、ぜひ参加してくださいね。

モニタリングサイト 1000　里地調査に参加

『モニタリングサイト 1000 里地調査』は環境省のプロジェクトで、生物相や指標生物、水環境といった総合的な環境調査を、全国の多数の場所（1000 ヵ所位）で統一された方法で行い、日本の自然環境の変化を全国レベルでとらえることを目指します。生態系の変化を全国的・長期的にモニタリングすることによって、外来種の侵入や希少種の減少といった異変をいち早く捉えて、調査地の保全に役立てることを目的としています。（日本自然保護協会HPより）

平岡どんぐりの森はこのプロジェクトの一環として、カエル類（平岡公園）と鳥類（東部緑地）の調査に参加します。1 サイクルが 5 年という長期的な計画ですが、この調査を機会に地域の自然を見守りたいと思います。

平 岡 公 園

（文と写真）　平岡公園管理事務所　あめおとこ

「平岡どんぐりの森」皆さんとは、約10年、人工湿地での活動を中心にイベントなどでご協力頂いただき、時には「あめおとこ」として一緒に活動させて頂いています。

公園を管理する我々にとって、子供たちに公園の魅力を紹介できる機会は重要なことと位置づけています。そんな機会をたくさん作って頂いていることに感謝しております。

平岡公園も造成が始まってから約20年、いまでは完全に住宅街に囲まれ周囲の自然環境から孤立した公園になってしまいましたが、公園内には「沢」「林」「原っぱ」「湿地」があり小さいながらも、色々な場面を見ることが出来る豊かな自然環境だと思います。

2000 年 6 月 3 日撮影

都会育ち（自称：シティーボーイ？）の私にとっては、子供の頃、動物園や植物園、図鑑などでしか見ることの出来なかった憧れのオオバナノエンレイソウやギンリョウソウ、ミズバショウ、ゲンゴロウ、ザリガニなどが、ごく普通に観察できることに驚いています。

こんな素晴らしい環境で観察の達人で野遊びの達人のゆうさんと一緒に観察できる「ながぐつの土曜日」に参加している子供たちにちょっと嫉妬しています。そんな「ながぐつの土曜日」に参加している子供たちが、大人になって公園に帰って来てくれることを願っています。私自身も、小学生の頃には出身地で「自然を守る会」に参加し、昆虫や植物の観察会や里山の間伐、炭焼きなどを実際に経験したことにより、自然に興味を持ち公園の管理という仕事に就くきっかけになっています。

2003 年 5 月 29 日撮影

感受性豊かな子供の頃に生きた本物に出会えることは本当に素晴らしいことだと思います。

最後に、平岡公園の豊かな環境を今後、10年、20年と維持していくためには、みなさんのお力が必要です。湿地や林の管理・計画、公園内に生息する生物などの自然環境について、「平岡どんぐりの森」の皆さんや専門家の先生方にご指導、そしてご協力をいただき、公園の管理者として、そして「あめおとこ」として私も成長し、皆さんと一緒に考え活動していければと願っております。

2008 年 6 月 2 日撮影

冬の平岡公園　スノーシューで歩いてみよう！

1 月 17 日（土）	冬の平岡公園にぎわいフェスタ	管理事務所前　1:30 集合
2 月　4 日（水）	ツリーウオッチング　スノーシューで冬の森散歩	第 5 駐車場 10:00 集合
2 月 14 日（土）	ながぐつの土曜日　雪の森たんけんたい	第 5 駐車場 10:00 集合

スノーシュー、カンジキは用意します。申し込み不要。　詳細はホームページで。

発行　**平岡どんぐりの森**　（代表　荒井美和子）

〒004-0033　札幌市厚別区上野幌 3 条 5 丁目12－8

tel. fax　011－896－0058

ホームページ開設しました！どうぞよろしく！！　http://dongurinomori.web.fc2.com/